

岩木川ダム 統管だより

087号
2024年
(令和6年)
7月31日



令和6年6月13日(木)西目屋村おんな坂親水公園において、サクラマス稚魚放流体験学習会(主催:岩木川漁業協同組合)が行われました。

西目屋小学校の1年生から6年生までの生徒が参加しました。救命胴衣を装着した児童たちが、2学年毎に分かれて、バケツに入った稚魚を、やさしく岩木川に放ちました。

川に入った稚魚たちは、川の中でキラキラと光って気持ち良さそうに泳いでいました。

この日は、日差しが強くととても暑く感じる日でしたので、放流後は日陰に移動し、魚の生態等についての講話を聞き、生き物や川について深く学んでいました。

大規模洪水を想定したダム警報訓練

令和6年6月25日（火）に黒石市の津軽伝承工芸館において、大規模洪水に備えた合同訓練が行われました。この訓練は、異常豪雨や局地的な大雨による洪水が起こった際に、適切な避難行動をするための防災意識の向上を目的としています。

今年度は、山形地区自主防災組織と黒石市、当事務所の3者合同で行い、「住民参加型避難行動訓練」、「ダム警報訓練」を実施しました。

午前10時より、袋警報所、富岡警報所、落合警報所の順で警報設備を作動させ、音声放送、サイレンを流し、住民に確実に防災情報が聞こえるかを確認しました。

避難行動訓練の対象地域である山形地区の住民約40名は、津軽伝承工芸館へと避難し、いざというときのための道順や時間などを確認しました。

会場では、当事務所の浅瀬石川ダム管理支所の熊谷支所長が、ダムの重要性や過去の災害事例について講話を行いました。



▲避難場所の津軽伝承工芸館



▲広報車で避難を呼び掛け



▲音声放送、サイレン



▲避難行動訓練の様子



▲ダムについて講話



▲AEDについて説明

カヌー大会

令和6年6月22日（土）、23日（日）に目屋溪谷において、2024ワイルドウォータージャパンカップ第3戦、第21回白神カップカヌー大会、令和6年度国民スポーツ大会東北ブロック大会兼第51回東北総合スポーツ大会、2024カヌースラロームジャパンカップキョクヨーシリーズ第2戦が行われました。

当事務所の岩花副所長が来賓として参加し、挨拶、競技の観戦をしました。競技中の川の水量は十分にあり、全国各地から集まった選手の皆さんが熱戦を繰り広げていました。

当事務所では、大会期間中に、競技に必要な水量が十分に確保されるように、津軽ダムからの放流調整で協力しています。



▲協議中の様子



▲岩花副所長挨拶

岩木川水系重要水防箇所合同巡視

令和6年6月17日（月）に青森河川国道事務所五所川原出張所管内（岩木川下流側）、19日（水）に藤崎出張所管内（岩木川上流側）の重要水防箇所合同巡視が行われました。

それぞれの水防箇所地点において、地域の水防団の皆様に対して危険箇所の説明が行われました。当事務所からも参加し、ダムの効果や特性、事前放流や特別防災操作などについて説明を行いました。

万が一の出水時には、河川流域の自治体などと情報伝達を行い、連携をとり、被害軽減に努めていく所存です。



ダムの出水対応について

令和6年6月30日（日）の前線に伴う大雨により、洪水が発生する可能性が出てきたため、津軽ダムにおいて災害対策支部注意体制、警戒体制を設置しました。同日の22時8分には流入量が250m³/sを超え、洪水調節を行いました。気象情報の確認や洪水予測のほか、下流関係機関への連絡、記者発表を行い、洪水を安全に流せるように対応にあたりました。

このように、岩木川ダム統管理事務所では、常日頃より適切なダム管理に尽力しておりますが、今後も油断することなく対応してまいります。

月	日	時間	体制	備考
6	30	12:00	注意体制	津軽ダム
6	30	21:00	警戒体制	津軽ダム
6	30	22:08	洪水調節開始	津軽ダム
7	1	13:30	警戒体制解除	津軽ダム



津軽ダム
イメージキャラクター
ベッカー君

- 日時：令和6年6月5日（水）
- 天気：晴れ

現場レポート第20弾

～津軽ダム 堆砂測量に同行～



今回のレポートは、総務課の宮川です。ヘルメットおばさん、初めてのゴムボートにドキドキの巻！！

津軽ダムのある津軽白神湖では、ダム湖の測量を行い、堆砂量を測定しています。ダム湖の水には砂や泥が混じっています。その砂や泥などが湖底に溜まり、長年積み重なってきます。

今回は、津軽ダムの堆砂測量に同行させていただきました。どのような方法で測量を行っているのでしょうか？いざ現場へ！！

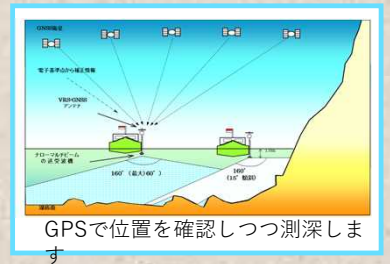
ダム湖側の集会所へ向かうとたくさんの機器が設置してあるゴムボートがありました。

水中には音響測深機が入っており、最大160°の角度で測定できるそうです。音響測深機から音波を出し、湖底にぶつかり、戻ってくるまでの時間を測定して深さを出力しているとのこと。船上のモニターには、進むべき航路とボートの位置が表示されており、データの取り残しがないよう丁寧に測量されていることがわかりました。

天気や風の強さに左右されるため、ダム湖全体を測定するのに3週間以上かかるという大変かつ重要な仕事だと感じました。



ボートに乗っている写真



GPSで位置を確認しつつ測深します

ダム周辺に暮らす鳥を紹介します



ホオジロ

名前

北海道から九州まで分布。林や草地にすみ、昆虫や種子を食べます。全体的に茶褐色で、のど、頬、眉が白色です。

「チョッチョッ」「チッチチッ」と鳴くよ！





ライトアップ情報



【水の日・水の週間 ブルーライトアップ】

期間：2024年8月1日（木）～7日（水）

時間：19時～21時

場所：津軽ダム

水の週間にあわせて津軽ダムを青色に照らします。



【夏のライトアップ】

期間：2024年8月9日（金）～18日（日）

時間：19時～21時

場所：浅瀬石川ダム、津軽ダム

帰省時期、お盆の時期にあわせて、浅瀬石川ダムと津軽ダムを照らします。



今月の昔っこ (昔話)

岩木川ダム統管事務所のホームページでは、毎月1話 津軽地方に伝わる昔話を標準語・津軽弁の2パターン作成、公開しています。事務所職員が描いた温かみのあるイラストとともに地域に伝わるお話をお楽しみください。

第29作目となる5月のお話は『津軽のひげ殿様①』です。

津軽の意地っ張り殿様、秋田藩の殿様が將軍様に献上した大きな蕨ををみて張り合ってしまう。立派な蕨を見つけ献上しなければ切腹と言われてしまってさあ大変。運命はいかに。



編集後記



7月に入り、ダム見学の機会が増えてきました。気温が高くなるにつれ、堤体内の涼しさがより心地よく感じます。ダム堤体内基本コースでは、54段と44段の急な階段があるのですが、初めて下ったときは怖くて怖くて、、、慣れるまで時間を要しました。見学に来られる子供達の中には、スイスイ平気そうに階段を下る子もいれば、とても慎重に下る子もいらっしゃいます。『気持ちわかるよ～。怖いよね～。頑張って～』と心の中で応援しながら最後尾から見守っています。

皆様もぜひダム見学会に参加し、傾斜45° 98段の階段に挑戦してみてください☆ (宮川)

編集・発行



国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統管事務所
(浅瀬石川ダム・津軽ダム)

〒036-1422
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平
字寒沢138-2

TEL 0172-85-3035
FAX 0172-85-3061



(ホームページ) (X(旧Twitter))

岩木川ダム統管事務所
ホームページアドレス
<https://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>
公式X(旧Twitter) @mlit_iwakito